

令和5年7月24日発行

## 〇既に暑い・・・暑熱対策は万全ですか？

暑熱のストレスは、熱中症といった目に見える体調変化を起こすことはもちろん、採食量や受胎率の低下により生産量の低下を引き起こします。  
人も家畜も暑熱対策を万全にして、暑い夏を乗り切りましょう！



## 家畜の適温域

泌乳牛 5～20℃ 育成牛10～25℃ 肉用牛5～25℃



## 暑熱対策

- ・換気扇や扇風機での送風
- ・家畜への直接送風、散水
- ・屋根や壁、床への断熱材の使用、樹木や遮光ネット等の設置
- ・ビタミン、ミネラルの追給、良質で消化率の高い飼料の給与



換気扇による送風（福井県）



石灰の吹き付け（宮崎県）



ネットに植物を這わせる（兵庫県）

農水省 HP より

## 人も気を付けましょう！

- ・作業前・作業中の水分・塩分補給、こまめな休憩
- ・熱中症予防グッズの活用
- ・複数名での作業の実施
- ・気温の高い時間帯を外して作業をおこなう

## 〇牛ウイルス性下痢（BVD）のバルク乳検査を実施します！

近年、BVDの発生が全国的に増加しており、県内でも持続感染牛（PI牛）の摘発事例があります。

本県ではPI牛早期発見のため、令和元年度から半年に一度、県内の全酪農家を対象にバルク乳を採取し、無料で検査を実施しています。

今年度1回目については以下のとおりです。

日 時：令和5年8月1日（火）

検査材料：バルク乳

検査方法：遺伝子検査

※バルク乳検査で陽性の場合は個体を特定するため全頭検査となります。

### 発生予防対策

- 導入牛（妊娠牛の場合はその産子も）は、BVDの検査を行いましょう。  
（検査手数料 600円/頭）
- BVD ワクチンを接種して感染を予防しましょう。ワクチンには生と不活化がありますが、妊娠牛には必ず不活化を接種してください。
- PI牛と診断されたら速やかにとう汰しましょう。

## 〇令和5年度飼料製造管理者講習会が開催されます！

独立行政法人農林水産消費安全技術センターは、令和6年1月10日(水)～3月1日(金)（最終日は試験）に令和5年度飼料製造管理者講習会を開催します。

受講申請期限は、令和5年8月31日(木)です。

詳細は、ホームページ（<http://www.famic.go.jp>）を御確認ください。

## 〇薬剤耐性対策に御協力ください。

薬剤耐性が国内外で大きな問題となっていますので、以下のとおり対策をお願いします。

- 1 抗菌剤の慎重使用
  - 感染症の発生を予防するため、飼養衛生管理基準を遵守する
  - 疾病、外傷等に抗菌剤を使用する際は、獣医師の投薬指示に従う
  - 導入家畜等への抗菌剤の予防的投与は自粛する
- 2 投薬履歴の記録：獣医師による投薬等に関する記録を作成し3年間保存する
- 3 抗菌剤の保管・廃棄：獣医師の注意及び指導を踏まえて取り扱う